



7月9日 (火) ~ 18日 (木)

7/4 定例記者会見で突如として発表

「みどりの窓口」限定復活

一部では「みどりの窓口増設」と報道される期待の高さ

JR 東日本は7月4日、定例記者会見を行い、お盆の繁忙期に合わせてみどりの窓口（出札窓口）を復活させる駅数について、当初計画の15駅から50駅に拡大すると発表しました。会社は「これまでの利用状況を見てさらに窓口を増やすべきだと考え、要員体制を整えた」としています。

【発表内容（要旨）】

- 復活期間は、お盆シーズンに乗車する切符の販売が始まる7月9日～18日
- 窓口が削減（3窓中1窓しか開いていない等）された44駅については、混雑状況に応じて窓口を開設
- 窓口を閉鎖（パーテーションで塞ぐ等）した6駅については、臨時窓口として開設

容易に想定され、組合と現場から指摘し続けてきた

“出札窓口閉鎖による混雑・混乱”と“利用者の不満の声”

しかし JR 東日本の経営が
推進し続けたのは ▶▶▶

利用者目線に立っていない UI（操作性）…券売機

利用者への DX（社内デジタル変革）強要…えきねっと

輸送サービス労組中央本部は、5月に示された「みどりの窓口閉鎖の凍結」をめぐって、申40号『公共交通を担う者の責務を全うするために、現場と利用者の声に踏まえた駅販売体制の再構築を求める申し入れ』を提出し、対策を求めています。

利用者と社会と働く私たちが望むのは、恒久的対策

一過性の付け焼き刃的な対応は欺瞞だ！